

2. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	・意欲的に授業に取り組み、さらに、主体的に問題解決することを通して、文字に置き換えたり、帰納的に考えるなど、様々な事柄の考察に積極的に取り組もうとしている。
数学的な見方や考え方	・主体的に問題解決することを通して、文字に置き換えたり、帰納的に考えるなどの数学的な見方や考え方を身につけ、様々な事柄を数学的に捉えて論理的に考えることができる。また、その道筋を振り返っていろいろな解法を考えたり、さらに問題を発展的に考えることができる。
数学的な技能	・様々な事柄を数学的に捉え、文字で表現したりベクトルを利用して考えるなどの方法を身につけ、よりよく問題を解決することができる。
知識・理解	・数列やベクトルの基本的な意味や原理・法則、用語・記号などを理解し、数学的な知識を身につけている。

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

評価方法
年5回の定期考査
長期休業中に出题される課題および休業あけの宿題テスト
学習への参加状況（出席状況、授業中の取り組み（意欲態度）、問題演習への取り組み等）
ノートのまとめ方
授業で活用するプリント、小テスト、単元テスト等への取り組み

また、1年間の評定は、1学期・2学期・3学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。

3. 特に強調しておきたい点（留意すべき点・担当者からのメッセージを含む。）

単に公式や定理を暗記して解くだけでなく、理由や根拠を考え、それを理解したうえで活用してほしい。また、数学の学習を通して、見通しをもち筋道を立てて考え、判断できる力を身につけてくれることを期待します。